

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局建政部都市整備課

担当課長名：新階 寛恭

事業名	としけいかくどうろやまてかんせん おおたにこうく 都市計画道路山手幹線（大谷工区）		事業区分	街路事業	事業主体	西宮市
起終点	ひょうごけんにしのみやしかすみちょう 自：兵庫県西宮市霞町		ひょうごけんにしのみやしおおたにちょう 至：兵庫県西宮市大谷町		延長	0.6km
事業概要						
<p>本路線は阪神間を東西に結ぶ主要幹線道路であり、本事業は芦屋市に接続する延長603mの区間で道路を新設整備するものである。この事業は阪神淡路大震災の復興事業として平成7年12月より整備を進めており、本事業が完成することにより、西宮市内の山手幹線が全線開通することとなる。</p>						
平成7年度 事業化		昭和21年度 都市計画決定 （平成13年度 変更）		平成7年度 用地買収着手		平成15年度 工事着手
全体事業費		約76億円	事業進捗率		81%	供用済延長
計画交通量		25,000台/日				
費用便益 分析結果	B / C (事業全体)	総費用 C (残事業)/(事業全体) 2.7/83億円		総便益 B (残事業)/(事業全体) 196/196億円		基準年 平成16年
	(残事業) 72.6	事業費：2.6/83.3億円 維持管理費：0.1/ 0.1億円		走行時間短縮便益：186.8/186.8億円 走行費用減少便益：6.8/ 6.8億円 交通事故減少便益：2.7/ 2.7億円		
事業の効果等						
円滑なモビリティの確保(旅行速度の改善) 無電柱化による美しい町並みの形成(電線類地中化5ヵ年計画の位置づけあり) 災害への備え(地震対策緊急整備事業計画の位置づけあり) 安全な生活環境の確保(道路狭小区間における歩道整備)						
関係する地方公共団体等の意見						
阪神間4市(尼崎市・西宮市・芦屋市・神戸市)の首長が山手幹線整備促進期成同盟会を組織して早期整備を要望している。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
地域住民と共同して道路整備内容の検討を行うなど、地域の復興にあわせ、地域住民と一体となって整備を進めている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
用地買収は約90%完了しており、現在、用地買収交渉を進めるとともに一部区間で道路工事に着手している。今後、用地買収済み区間から順次工事に着手し、平成18年度末に全線供用開始する予定である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
事業着手後、地元との用地交渉・工事調整等に日時を要したが、現在は地元合意を得て事業を進めている。						
施設の構造や工法の変更等						
特になし						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
本事業の必要性及び重要性は事業着手時点から変化しておらず、本事業の完成により阪神間全体の交通の円滑化等に大きく寄与すると考えられる。						
事業概要図						